

エゾシカ管理の現状について

1

1. 知床半島エゾシカ管理計画の概要

【策定の背景】

- ・ 1990年代頃よりエゾシカが急増し、植生への影響が顕著に
- ・ 希少植物種や個体群の絶滅など、様々な影響を懸念

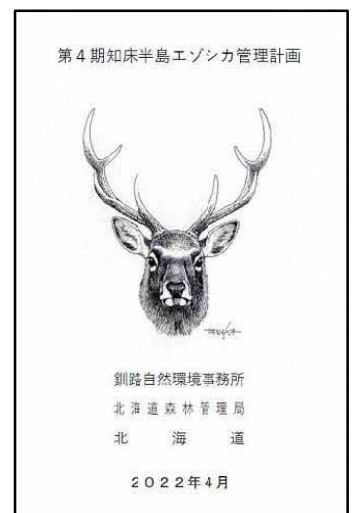
【計画の目的】

- ・ 世界自然遺産として認められた多様な生態系（特に植生）を回復、維持

※エゾシカを根絶することが目的ではない

【経緯】

- ・ 第1期 2007（H19）～2011（H23）年度
- ・ 第2期 2012（H24）～2016（H28）年度
- ・ 第3期 2017（H29）～2021（R3）年度
- ・ 第4期 2022（R4）～2026（R8）年度



■エゾシカによる植生への影響

個体数密度が **1 km²あたり 5 頭を超える**と森林が衰退する
といわれている

(例) 1 km² の広さのイメージ



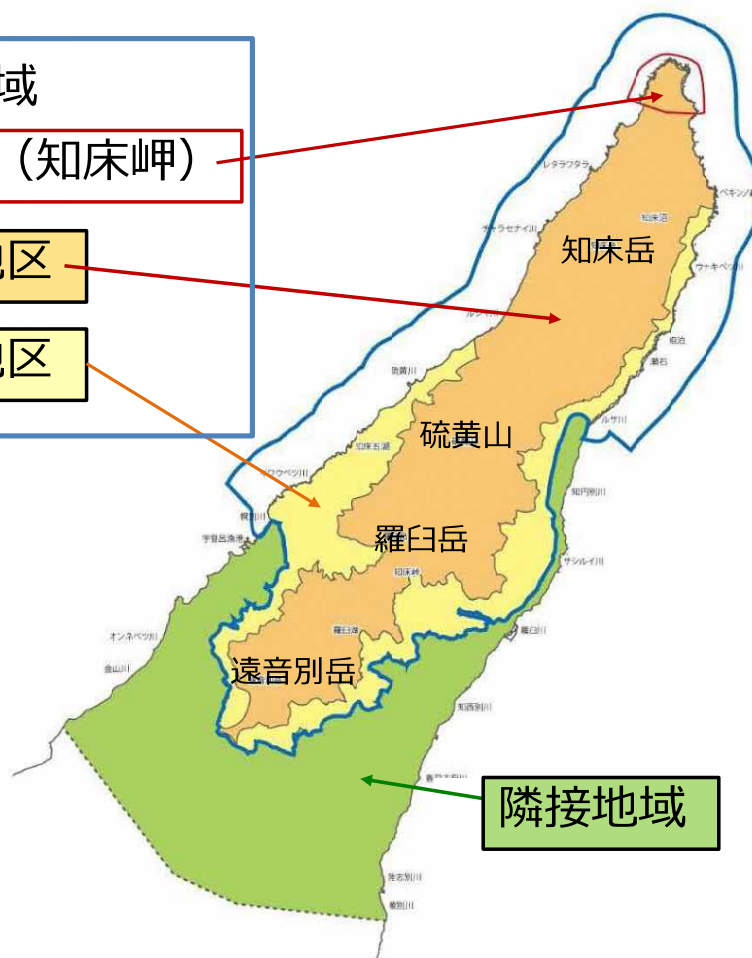
■地区ごとの方針

世界自然遺産地域

特定管理地区（知床岬）

エゾシカ A 地区

エゾシカ B 地区



【特定管理地区（知床岬）】

地区の現状	・一部の植生域で回復傾向あり ・航空カウント調査の結果、発見数は減少傾向 ・ただし、直近は大幅な増加傾向 2020年：16.1 頭/km² 2021年：58.2 頭/km² 2022年：78.6 頭/km²
管理の目標	・第4期計画期間中は、10頭/km²以下を目標 （中長期的には5頭/km²以下とする）
管理の手法	・様々な捕獲手法を組み合わせるなど、可能な限りの取組みを実施 ・実施の際は、利用者の安全確保に十分に留意

【エゾシカ A 地区】

地区の現状	・ルシャ地区では、エゾシカの採食圧が強い ・その他、高山帯などの採食圧は比較的弱い ・2022年2月の航空カウントでは7.4頭/km²
管理の目標	・人為的介入は避ける （防御的手法は必要に応じて実施）
管理の手法	・モニタリングによる現状把握の継続

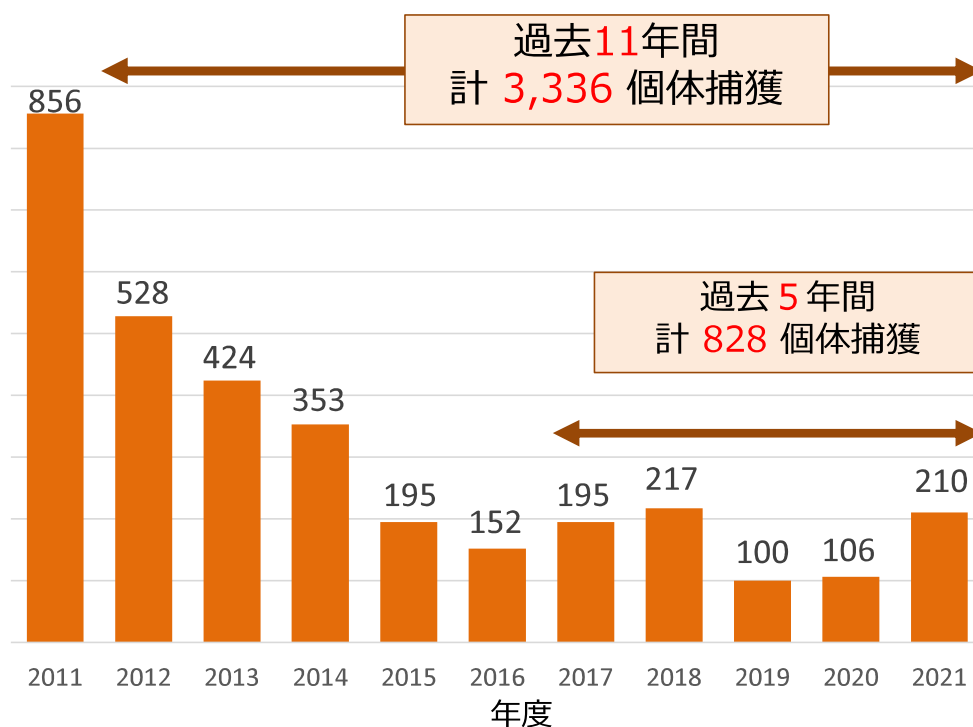
【エゾシカ B 地区】

地区の現状	・ 捕獲等により個体数密度は低下傾向 ・ 2022年2月の航空カウント結果 幌別-岩尾別 10.3 頭/km² ルサー相泊 4.0 頭/km² ウナキベツ 7.1 頭/km²
管理の目標	・ 必要に応じて人為的介入（防御的手法、個体数調整）を実施 ・ 実施の際は、地域住民や利用者の安全確保に十分に留意 ・ 5 頭/km²以下を目標
管理の手法	・ 幌別-岩尾別、ルサー相泊で個体数調整を継続

7

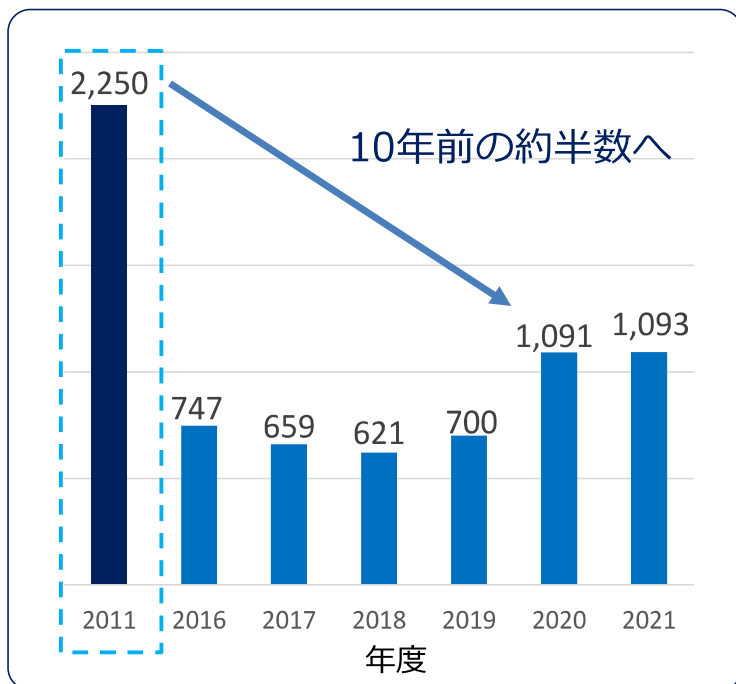
2. これまでの取組の成果

■ 過去の捕獲実績



8

■ 航空カウント結果（頭数）



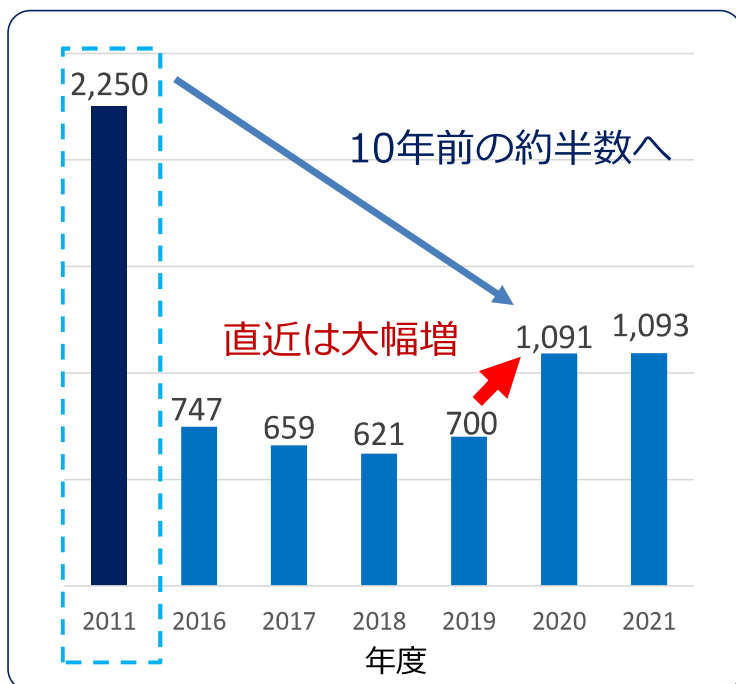
< 植生回復の例（知床岬） >



（写真：知床財団提供）

9

■ 航空カウント結果（頭数）



エゾシカは1年間に
約21%の割合で増加



今後も一定の捕獲を
継続する必要

※効果的かつ効率的な個体数調整
を実施

- ・ 既存手法（忍び猟、ワナ猟等）
- ・ ハイシートの利用
- ・ 日没時銃猟の実施
- ・ 捕獲個体の残置

（知床岬での検討を継続）

- ・ 仕切柵の改修（知床岬） など

複数の手法を地域区分や捕獲時期
に応じて組み合わせる

10

3. 今期の対策予定

■ 幌別-岩尾別

罠いわな式捕獲 (大型仕切柵)	くくりわな猟	待ち伏せ式狙撃 (昼間)
		
12月～4月予定	1月～2月予定	1月～4月予定

11

■ 幌別-岩尾別

待ち伏せ式狙撃 (日没時銃猟)



1月以降年度内を予定

※日没後 3 時間まで実施します

◆ 引き続き、事故防止対策を徹底

<事前調整>

- ・住民、役場、警察等と調整
- ・住民への事前周知（広報誌など）

<実施時>

- ・注意喚起（看板・防災無線など）
- ・立入制限（見張り員の配置）
- ・捕獲個体は回収 → 原則、食肉利用

12

■知床岬地区（4月～）

待ち伏せ式狙撃、忍び猟などを実施



※捕獲圧の強化のため、捕獲手法や時期等をさらに検討中
（→有識者によるエゾシカワーキンググループにて協議）

13

■ルサ-相泊

くくりわな猟



12月～3月予定

◆引き続き、事故防止対策を徹底

＜事前調整＞

・地権者や関係機関等と調整

＜実施時＞

・わなを設置していることを掲示等で周知
・捕獲個体は回収
→ 利活用施設又は処分施設へ搬送

14

遺産地域内ではこのような取組も行っています



- エゾシカによって実際にどれくらいの影響があるのか
高山植物や希少植物、樹木など、様々な植物の調査を行っています。



- 健全な植生の状況とはどのような状況か
を明らかにするための調査検討を行っています。



- エゾシカの群れがどこに集まりやすいのか、移動はどのように行われているのか、エゾシカの生態を明らかにする
ための調査も行っています。